令和８年度　新潟県小中学校PTA連合会　研修会

親子のコミュニケーション

上越教育大学いじめ・生徒指導研究研修センター
センター長・教授　　高橋　知己
tomomi@juen.ac.jp

不登校を考える教育イベント

学校に行けない期間の「学び」と「進路」を考える

参加無料

2026年11月29日(日)

13:30～16:30(受付開始13:00～)

【場所】米百俵プレイス ミライエ長岡
西館4階 ミライエステップ

お申込みフォーム QRコード

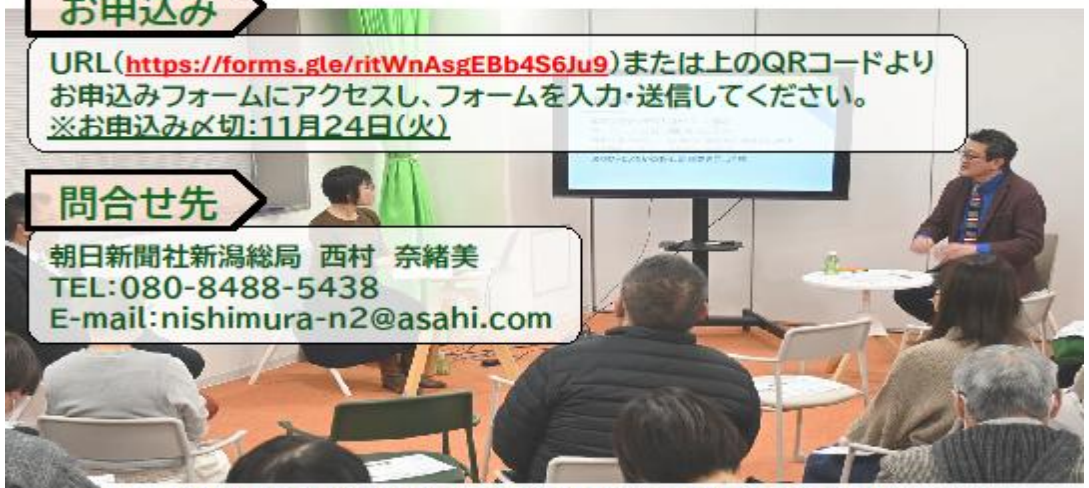
研究者・学校・行政の視点から現状を共有し、子どもたちが自分に合った学びを選択し、自らが納得する進路を選ぶために、学校・行政・家庭・地域がどのような支援ができるのかを、ともに考えるイベントです。

お申込み

URL(https://forms.gle/ritWnAsgEBb4S6Ju9)または上のQRコードよりお申込みフォームにアクセスし、フォームを入力・送信してください。
※お申込み〆切:11月24日(火)

問合せ先

朝日新聞社新潟総局　西村　奈緒美
TEL:080-8488-5438
E-mail:nishimura-n2@asahi.com



【主催】朝日新聞社新潟総局、上越教育大学いじめ・生徒指導研究研修センター

不登校やいじめなど、学校生活に関することを実践的、論理的に研究しています。
今年度も、朝日新聞新潟総局と連携して、
「不登校を考える教育イベント」を行います。

不登校と進路 みんなで考える

長岡で29日　上越教育大・高橋教授ら

朝日新聞新潟総局と上越教育大学は、不登校と進路を考えるイベントを29日に長岡市で開きます。

不登校の児童・生徒が増えるなか、子どもや保護者の多くは学校に行けない期間の学習の遅れに不安を抱えています。

自分に合った方法で学び、納得できる進路を選ぶために学校や行政、家庭は何ができるのでしょうか。上越教育大の高橋知己（ともみ）教授や教育関係者、参加されたみなさまとともに考えます。

◇日時　11月29日（日）午後1時半～午後4時半（午後1時開場）

◇場所　「米百俵プレイス　ミライエ長岡」の西館4階「ミライエステップ」（長岡市大手通2丁目3－10、JR長岡駅から徒歩5分）

◇定員　100人

◇参加費　無料

◇応募方法　QRコードから申し込みフォームを送信してください。締め切りは11月24日（火）。　◇問い合わせ先　朝日新聞新潟総局（niigata@asahi.com）へ

高速道路のトイレで

　G.W（ゴールデンウイーク）の高速道路はいつもながらの大渋滞でした。休憩しようとサービスエリアに入りました。

　女子トイレはめちゃくちゃ混んでいて、長い列ができていました。

　そんな列から　７０代くらいのおばあさんが小走りで　男子トイレに来て「ごめんね」と言って入っていってしまいました。

あなたは、それを

A　許す

B　許さない

どちらですか？

それは、なぜですか？

温泉で

今日は、お母さんと私の二人で、久しぶりに温泉に来ました。

二人で温泉の湯船につかりながら、来年から中学生になるので、不安なことや楽しみにしていることなどの話をして、とても楽しいです。

そんなとき４０代くらいのお母さんが、温泉の女湯に、確かうちの小学校の２年生の男の子を連れて入って来ました。

あなたは、それを

A　許す

B　許さない

どちらですか？

それは、なぜですか？

公園で　いじめられた

　お父さんから誕生日にプレゼントされた大事な帽子をかぶって外に出かけるのが、ボクは大好きでした。

　いつものように帽子をかぶって公園に遊びに行ったら、友達のススムくんたちがいました。みんなで缶蹴りをしたりかくれんぼをしたりして遊んでいましたが、すぐ鬼になっちゃうので途中でススムくんは怒りだしてしまいました。

　ボクやみんながなだめようとしましたが怒りはおさまりません。そのうち何の拍子か、ボクの帽子に手をかけてきて地面に投げつけました。

　「なにをするんだよ！」とボクは怒りました。

　「うるさい！」と言って、ススムくんはあろうことか帽子をふみつけてしまいました。

　ボクは、はっと息をのみました。

あなたはどうしますか
- A　ススムくんに殴りかかる
- B　仕返しに彼の帽子を投げつける
- C　それ以外

なぜですか？

反抗期のメカニズム



遊ぼうぜ

わが家では、こうだ！



それまでの価値観や風習文化と違う世界と出会うことによって、自分の価値観を疑うようになる。
それは他者との出会いや異文化との遭遇によって引き起こされる。
それが親世代の価値観と乖離して受け入れがたくなると衝突を引き起こす引き金となる。
子どもの迷子はみんな心配するけれど、価値判断をウロウロする大人の迷子には気づかないことが多いのでは。

家族のコミュニケーションがとりにくくなっているというのは本当か？

- コミュニケーションの形態が変わってきている？直接対話から電話、ポケベル、メールの時代へ
- 家族の価値観が変わってきている。土着型から遊牧民型へ。浮遊する人間
- 家族の思い描く幸福像、価値観の多様化
- 個人主義の復権と同時に孤独感への埋没

家（ホーム）とは？

- 何にも話さなくともいられる安心できる場所

- 話さなければ家族でも伝わらないことがある

大人が「家族」を思うとき
自分にとっての一番いい時代の思い出
それは、３歳のころの思い出なのか、青春時代の友人との思い出なのか
それとも現在進行形の今なのか
子どもが選択する家族の思い出は、親世代のそれよりもずっと範囲が狭い
その中で頑張って今を生きていることを親には思い至ってほしい

今やるべきこと。親として、というよりは一人の人間としてとして自分の価値観を、その意義を含めて、
子どもたちに対して「自己開示」することが重要だと考えています。
何より、親子愛はサグラダファミリアの生命の樹の彫刻（生誕のファサード：生命の樹）の「親子ペリカン」
とにているのかもしれません。遠くからは見えるけど、近くからは見えないことが多いのです。

子ども（人間）の発達とは

- 発達とは社会性の発達
- その視点が，自己中心的－他律的－自律的－社会的　へと次第に高次になっていくプロセスが発達のプロセス。
- 視点が自己を中心とした一方向的なものから，
- 他者もまた同様の視点を持つこと，
- その上で自分ができることしたい事との妥協や協調できる点を見いだすことの重要性，
- 自己を見つめる他者の視点の獲得，
- 多様な他者との合意・協働のためのルール作りの必要性，

と視点が変化していくことが社会性の発達の基本となっている。

親子ともどもこうした発達の途上だという感覚を持つのも大切なことかもしれません